

早稲田大学芸術功労者

# 阿刀田 高 展

—— 短編小説を知っていますか ——

本展は、阿刀田高が2011年に早稲田大学芸術功労者として表彰されたことを記念し、その業績を紹介いたします。

阿刀田高は1935年に東京で生まれ、早稲田大学第一文学部文学専修に進学。76年「冷蔵庫より愛をこめて」でデビュー後は79年「来訪者」で日本推理作家協会賞、同年短編集『ナポレオン狂』で直木三十五賞をそれぞれ受賞、以降多くの作品を発表し著書は150冊におよびます。日常の裏側を垣間見る独自のブラックユーモア、そしてギリシア神話やシェイクスピア作品などを平易に読み解いた作品に定評があります。

執筆活動のほか、日本推理作家協会、日本ペンクラブ、文化庁文化審議会、早稲田大学文化推進部アドバイザー・コミッティー委員、朗読会「朗読21の会」を主宰し慶子夫人らと毎年公演を実施、そして本年(2012年)4月に山梨県立図書館長に就任するなど、文化振興のために精力的な活動をしています。

本年喜寿を迎えた阿刀田高の生い立ち・創作に至る過程・小説、なかでも短編小説への想い・活動・交友関係などを、初公開を含む取材資料・自筆原稿・著作・写真・記念品からたどります。

## 阿刀田高プロフィール

1935年1月13日に東京生まれ。16歳のときに父を亡くし、苦学を重ね、1954年早稲田大学第一文学部文学専修に進学する。1955年結核のため休学し、16カ月間の療養生活を送る。この間に多数の短篇小説を読んだことが、後年の活躍の礎となった。大学卒業後、61年から72年まで国立国会図書館に司書として勤務する。

1976年「冷蔵庫より愛をこめて」でデビュー。79年「来訪者」で日本推理作家協会賞、同年短編集『ナポレオン狂』で直木三十五賞をそれぞれ受賞。95年直木三十五賞の選考委員に就任、同年「新トロイア物語」で吉川英治文学賞を受賞。2003年紫綬褒章。05年文化庁文化審議会会長に就任(07年まで)・07年日本ペンクラブ会長に就任(11年まで)。09年旭日中綬章を受章。

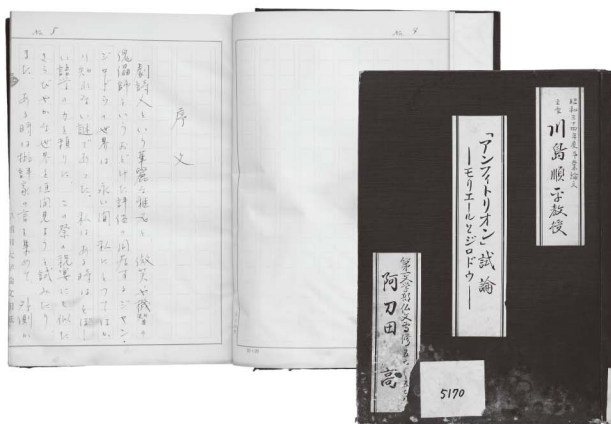
11年早稲田大学芸術功労者として表彰される。12年山梨県立図書館館長に就任。

### 《交通案内》

- ・JR山手線・西武新宿線(どちらも高田馬場駅 徒歩20分)、都バス(早大正門 徒歩1分)
- ・東京メトロ東西線(早稲田駅 徒歩5分)
- ・都電荒川線(早稲田駅 徒歩5分)



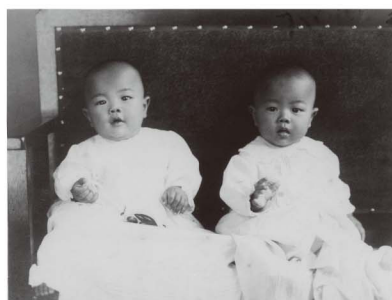
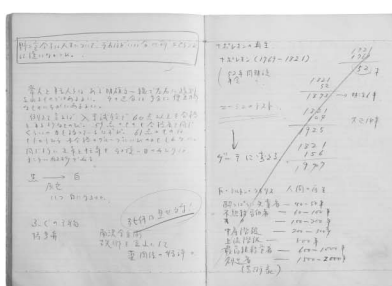
早稲田大学 26号館「大隈記念タワー」10階「125記念室」  
〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 大隈記念タワー10階 URL: <http://www.wasedabunka.jp>



早稲田大学  
第一文学部文学専修  
仏文学専修  
昭和三十四年度  
卒業論文  
「アンフィトリオン」試論  
—モリエールと  
ジロドゥー—  
(左・序文、右・表紙)  
1960年



短編集『ナポレオン狂』で第81回直木三十五賞受賞時の記者会見 1979年(写真提供 文藝春秋)  
(左上・正賞 懐中時計、左下・創作時の思案メモ)



生まれたころの双子の写真、向かって左が高  
1935年



かつて南青山第一マンションズの住人だった、  
阿刀田高、向田邦子、早乙女貴  
1981年(写真提供 文藝春秋)

※掲載資料はすべて阿刀田高所蔵

## 関連事業

### ① 講演・朗読会

「小説のカレイドスコープ—『大きな夢』を聞いて」

日程: 2012年12月12日(水) 16時30分～18時30分[予定](開場は16時)

会場: 早稲田大学小野記念講堂

内容: 第1部 阿刀田 慶子 朗読

阿刀田 高『大きな夢』

第2部 阿刀田 高 講演会

「小説のカレイドスコープ—『大きな夢』(朗読)を聞いて」

※参加無料・要予約・全席自由

詳細は本講演・朗読会チラシおよび「早稲田文化」ウェブサイト参照

### ② 展覧会担当学芸員によるギャラリートーク

日時: 2013年1月19日(土) 13時～13時30分[予定]

会場: 早稲田大学26号館(大隈記念タワー)10階 125記念室

\*参加無料、事前予約不要、直接会場へお越しください。

※都合により変更・中止等ございます。どうぞご了承ください。